日本共産党　横浜市会議員団　ほっとライン

2020年2月19日(水)　ファックス NEWS　№563　電話045(671)3032　FAX045(641)7100

2020年第1回定例会開催中　みなさまの傍聴をお待ちしております

2/21(金)　午前10時

(時間は変更される場合があります)

現年度議案反対討論

北谷まり　議員

(保土ヶ谷区)

○IR事業者選定委員会設置

カジノ汚職が起きているなか、究明も検証作業も無しに事業者選定に進むことは認められない。そもそも人の不幸で成り立つカジノは自治体が取り組む仕事ではない。

○市立保育所の民間移管

民間移管は、人件費の削減がねらい。保育士不足の事態をさらに深刻にするだけ。

○市立の授産所等の廃止

民営化にともなう2か所の市福祉授産所の廃止は、長年の経験蓄積が失われ、市として現場把握もできなくなる。認められない。

○小中学校「1人1台」タブレット型PC整備

この事業は、国の緊急経済対策であり、受け入れ体制含め、現場での活用検討がない中での配備は拙速すぎる。

予算代表質問　午後3時45分頃

(時間は変更される場合があります)

あらき由美子　議員

(南区)

○予算編成の考え方について

生産年齢人口減少の課題に取り組むのなら、子育て世代が安心して暮らせる施策にこそ予算の重点を置くべき。市民が望む中学校給食の検討費すらない予算案は根本的に間違っている。市内の公立学校は築50年のところもあり、壁や窓などボロボロだが、この現状に向き合うべき。

安倍政権言いなりに一般会計繰入金を削減し、国保料の連続引き上げなど市民負担増を強いる一方で、横浜駅周辺、旧米軍上瀬谷通信施設の跡地など大型開発に多額の税金投入を行っている。地方自治体は国の下請け機関ではない。住民の福祉の増進、住民合意という本来の姿に立ち戻った予算にすべき。

○IRカジノ誘致について

○温暖化対策について

○核兵器廃絶、平和について

○ジェンダー平等について　など

ネット中継・録画もどうぞ!